



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場会社名 株式会社幸楽苑 上場取引所 東  
 コード番号 7554 URL <http://www.kourakuen.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井田 傳  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 武田 典久 (TEL) 024-943-3351  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	18,202	6.3	328	△66.4	356	△65.1	87	△81.2
24年3月期第2四半期	17,107	△3.5	979	△15.7	1,024	△14.2	469	23.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 78百万円(△83.4%) 24年3月期第2四半期 472百万円( 24.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	5.43	—
24年3月期第2四半期	28.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	23,393	9,487	40.4
24年3月期	22,017	9,872	44.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 9,465百万円 24年3月期 9,843百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	10.00			
25年3月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,993	5.1	1,219	△39.6	1,242	△40.1	372	△52.0	23.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	16,268,441株	24年3月期	16,268,441株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	264,730株	24年3月期	14,530株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	16,182,816株	24年3月期2Q	16,254,021株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表等 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 補足情報 .....	10
(1) 販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要や経済政策効果により回復の兆しも見られておりましたが、欧州債務危機や世界経済の減速懸念、円高の長期化等から先行きに対する不透明感は根強く、景気回復は足踏み状態に入っております。雇用・所得環境には改善の動きも見られますが、依然として厳しい状況にあることから消費マインド・個人消費の大幅な改善には至らず、デフレ基調が継続しております。

外食産業におきましても、景気低迷やエネルギーコストの上昇、増税・年金問題等による節約志向から外食を控える傾向が強まる一方、顧客獲得に向けた外食市場での競争に加え、中食市場との競争も激化しており、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、すべてのお客様に感動・感激の場を提供できる店舗づくりを目指し、継続的な店舗QSC（クオリティ・サービス・クリンリネス）レベル向上対策と商品戦略強化に取り組みながら、1,000店舗体制実現と業界シェア拡大に向けた出店戦略に基づき、既存商勢圏内へのドミナント出店を積極的に推し進めてまいりました。また、自社工場における主要食材の大量生産システムによるメリットを最大限に発揮することで品質の差別化と低価格戦略を継続するとともに、「食の安全・安心」を提供するための品質管理体制強化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は18,202百万円（前年同期比6.3%増）の増収となりましたが、人件費の増加や食材・エネルギー単価の高騰、新規出店数増加（新規出店数前年同期比9店舗増）に伴うオープン初期費用増加等の影響から営業利益は328百万円（前年同期比66.4%減）、経常利益は356百万円（同65.1%減）、四半期純利益は87百万円（同81.2%減）の減益となりました。

また、当第2四半期連結会計期間末のグループ店舗数は495店舗（前年同期比45店舗増）となっておりますが、10月29日現在、当社グループ北海道初出店となる厚別東店（札幌市）のオープンをもって、グループ国内500店舗出店を達成しております。

セグメント別の業績は次のとおりであり、金額については、セグメント間の内部売上高または振替高を含んで表示しております。

#### ① ラーメン事業

ラーメン事業においては、「マイスター制度（社内調理資格制度）」と「テーブル担当制（テーブル・サービス・レストラン型オペレーション）」を柱としたQSCレベル向上対策に継続的に取り組んでおります。各種マイスター育成については、全店舗・全時間帯においてマイスター取得者を配置できる体制を整えることを目的に取得率目標（ギョーザ70%、チャーハン50%、麺35%）を設定しました。すでに全店舗が目標値をクリアできるマイスター取得者を育成しており、安定した品質の商品提供につなげております。また、テーブル担当制については、あらためてホール担当者ごとの作業範囲と優先順位等を明確化し、ルール通りのオペレーションが実行されているか確認するための店舗ごとの認定制度を設けることで、すべてのお客様に満足いただけるサービス体制の確立に努めております。

商品面におきましては、期間限定商品として「肉中華そば」（4～6月）、「豚バラ中華そば」（8月～）、「担担つけめん」「贅沢濃厚魚介つけめん」（9月～）を順次導入し、お客様からの高い注文率と客単価の向上につなげているほか、夏季対策として、「冷し中華」や「冷し担担麺」、「野菜辛し盛り中華」等の冷たいメニューを充実させてまいりました。また、海外初出店を記念して「トムヤムクンらーめん」等の販売によるタイ出店記念フェアを実施しました。さらに、当社の定番商品である「チャーハン」をブラッシュアップし、かつての人気メニューであった「半チャンらーめん」を復活させ、期間限定で販売しております。

これらの諸施策により既存店売上・客数の増加に努めてまいりましたが、厳しい経営環境の影響により当第2四半期連結累計期間における直営既存店は、売上高前年同期比4.0%の減少、客数前年同期比5.4%の減少となりました。

店舗展開につきましては、年間43店舗（国内）の新規出店を計画しており、当第2四半期連結累計期間においては関東地方を中心に新規に直営店「幸楽苑」30店舗、出店形態別ではロードサイド27店舗、ショッピングセンター内フードコートタイプ2店舗、ビルインタイプ1店舗を出店し、スクラップ・アンド・ビルドを直営店4店舗で実施いたしました。また、7月には海外1号店となるエカマイ店（タイ）をオープンさせております。当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店469店舗（前年同期比46店舗増）となり、業態別には「幸楽苑」469店舗となりました。

この結果、売上高は17,572百万円（前年同期比6.7%増）となりましたが、営業利益は1,279百万円（同31.1%減）となりました。

② その他の事業

その他の事業は、フランチャイズ事業（ラーメン業態のフランチャイズ加盟店23店舗）、その他外食事業（和食業態及びハンバーグ業態の店舗展開）、損害保険及び生命保険の代理店業務、広告代理店業務を行っております。

フランチャイズ事業につきましては、福島第一原子力発電所の事故に伴い警戒区域に指定されたフランチャイズ加盟店1店舗について、営業再開の目途が立たないことからスクラップといたしました。

その他外食事業の店舗展開につきましては、当第2四半期連結会計期間末において直営店3店舗となり（前年同期比増減なし）、業態別には「和風厨房伝八」（和食業態）2店舗、「グリルガーデン」（ハンバーグ業態）1店舗となっております。ハンバーグ業態は株式会社フライングガーデンのフランチャイズ加盟店として営業しておりますが、サラダバー導入等のメニュー構成見直しを実施したことから、5月より「グリルガーデン」に名称を変更しております。

また、広告代理店業務の売上高が増加したこと等から、売上高は942百万円（前年同期比5.9%増）となり、営業利益は179百万円（同10.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて156百万円減少し、4,015百万円となりました。これは、現金及び預金が60百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,532百万円増加し、19,378百万円となりました。これは、建物が362百万円、リース資産が1,111百万円、それぞれ増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1,375百万円増加し、23,393百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて690百万円増加し、7,389百万円となりました。これは、一年内返済長期借入金が329百万円、流動負債「その他」に含まれる未払費用が394百万円それぞれ増加し、未払法人税等が298百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,070百万円増加し、6,517百万円となりました。これは、長期借入金が541百万円、固定負債「その他」に含まれるリース債務が473百万円、それぞれ増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,760百万円増加し、13,906百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて384百万円減少し、9,487百万円となりました。これは、利益剰余金が74百万円減少し、自己株式が299百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月11日発表の連結業績予想及び個別業績予想をそれぞれ修正しております。修正の内容につきましては、平成24年10月26日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成24年10月26日発表の業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,840,565	2,780,469
売掛金	174,404	159,929
たな卸資産	260,944	254,146
その他	896,396	820,836
流動資産合計	4,172,311	4,015,382
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,337,133	5,700,130
土地	3,954,241	3,954,241
リース資産	2,126,519	3,238,485
その他(純額)	999,969	1,110,592
有形固定資産合計	12,417,864	14,003,449
無形固定資産	176,855	174,576
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,044,588	2,081,696
その他	3,207,691	3,124,603
貸倒引当金	△1,338	△5,753
投資その他の資産合計	5,250,942	5,200,546
固定資産合計	17,845,662	19,378,573
資産合計	22,017,973	23,393,955
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,622,631	1,729,463
1年内返済予定の長期借入金	1,259,480	1,589,460
未払法人税等	670,089	371,700
その他	3,147,017	3,698,773
流動負債合計	6,699,217	7,389,396
固定負債		
長期借入金	2,905,530	3,447,370
資産除去債務	583,985	626,215
その他	1,957,028	2,443,747
固定負債合計	5,446,543	6,517,333
負債合計	12,145,761	13,906,730

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,661,662	2,661,662
資本剰余金	2,658,096	2,658,096
利益剰余金	4,538,494	4,463,899
自己株式	△20,036	△320,005
株主資本合計	9,838,216	9,463,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,716	1,611
為替換算調整勘定	△150	225
その他の包括利益累計額合計	5,565	1,836
新株予約権	22,230	21,736
少数株主持分	6,200	—
純資産合計	9,872,212	9,487,225
負債純資産合計	22,017,973	23,393,955



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	17,107,323	18,202,057
売上原価	4,553,286	4,889,523
売上総利益	12,554,037	13,312,534
販売費及び一般管理費	11,574,729	12,983,544
営業利益	979,307	328,989
営業外収益		
受取利息	18,499	17,425
固定資産賃貸料	82,674	78,064
その他	96,409	60,529
営業外収益合計	197,583	156,019
営業外費用		
支払利息	27,163	35,164
固定資産賃貸費用	80,590	77,534
その他	44,225	15,360
営業外費用合計	151,979	128,060
経常利益	1,024,912	356,948
特別利益		
投資有価証券評価損戻入益	40,122	13,285
社会保険料還付額	—	10,424
その他	780	7,589
特別利益合計	40,902	31,300
特別損失		
投資有価証券評価損	27,946	11,253
減損損失	77,382	70,375
その他	18,568	1,803
特別損失合計	123,897	83,432
税金等調整前四半期純利益	941,916	304,816
法人税、住民税及び事業税	482,730	328,560
法人税等調整額	△10,438	△105,102
法人税等合計	472,291	223,457
少数株主損益調整前四半期純利益	469,625	81,359
少数株主損失(△)	—	△6,585
四半期純利益	469,625	87,944

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	469,625	81,359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,469	△4,104
為替換算調整勘定	—	768
その他の包括利益合計	2,469	△3,336
四半期包括利益	472,095	78,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	472,095	84,215
少数株主に係る四半期包括利益	—	△6,193



